

技術職員各位

技術職員技術発表会実行委員長 中原 繁男

今年度の技術職員技術発表会の実施について

今年度当初、技術職員連絡会により、技術発表会のあり方についてのアンケートが実施されました。その結果、7割の技術職員が技術発表会を廃止するという意向を持っていることが分かりました。この7割という結果を重く受け止めますと、技術発表会は廃止という結論になるとは思いますが、研究担当副学長のご意向もあって、簡略化した形で継続することとしました。

今年度の技術発表会は、大きく分けて2つの区分があります。1つは報告書で、もう1つは技術交流会です。

報告書は業務報告書と技術報告書に分けられます。

業務報告書は、日常の業務に関する事柄（業務、出張、研修報告等）を書いて、技術職員技術発表会実行委員会（以下、実行委員会とします）に完成原稿として提出して頂きます。実行委員会では、提出いただいた業務報告書をWebに掲載いたします。業務報告書のWeb掲載は原則として学内専用閲覧となります。

技術報告書は、科研費を使用した研究報告や技術報告等、業務報告書よりも高度な内容の報告書となります。技術報告書も業務報告書と同様に完成原稿として実行委員会に送付ください。技術報告書のWeb掲載については、原則、学外公開となります。ただし、学外公開を希望しない場合は学内専用閲覧とすることも可能です。

技術交流会は、技術職員の交流を目的として、共通業務の意見交換等を行います。技術交流会は複数の分科会で構成し、共通業務ごとに分科会リーダーが分科会の構成メンバーを募集、企画、実施まで行います。分科会は懇談会、座談会、講習会など、目的に沿って実施され、形式にとらわれないものとします。

実行委員会では、技術交流会の分科会リーダーの募集、会場予約、会場整備、受付などの業務を行います。

この様に、今年度の技術発表会は昨年度とは違った形で開催される予定です。実行委員会の業務も相当簡略化され、今までのような多数の人員は必要ないものと考えます。実行委員会としては、要項や申し合わせ、そして会の名称等を、今年度から実行する業務に合わせて変更する予定です。技術職員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。